



### 菊池川流域プロジェクト

高校生が学校の枠を越え、地域貢献活動に取り組む任意団体です。活動目標や内容を高校生が話し合い、保護者の同意を得て保護者の責任の下で活動します。

地域に貢献する力を高校生の中に体験する必要があります。社会人にはできない、高校生だから認められる活動があります。それらは、高校生である今しかできないことなのです。

菊池高校商業科は、菊池川流域プロジェクトを応援しています。プロジェクトの実行委員を務める人材を育成し、そのための体験学習に力をいれています。

### 熊本県立菊池高等学校 商業科

〒861-1331  
熊本県菊池市隈府1332-1  
電話0968-25-3175  
FAX 0968-25-5758

### 人と人をつなぐ未来のビジネスリーダーの育成

菊池川流域プロジェクト  
以下のQRコードを読み取り  
登録してください。



## かすみ草収穫体験

2015/11/19 (木) 5・6時限目

3年生商業科の総合実践の授業を使い、かすみ草の収穫体験に出かけました。今年は9月に台風の影響を受け収穫できず、10月は雨が少なく気温も高くできすぎの状態となったそうです。

菊池のかすみ草は、全国一の品質でプライダ、祭壇には欠かせない商品となっています。しかし、気温が上がると一気に花が咲くため管理が難しいそうです。今回も好天候により大量に咲いたため、価格が暴落してしまいました。上田農園の上田さんの話では、17年間かすみ草を栽培していて初めての出来事だそうです。

高校生が手伝うことで、かすみ草を無駄にしないで商品化して欲しいとの思いでしたが、実際には素人にできる作業は少なく、「ハウス1つ処分す

るから好きだけ持って帰っていいよ」とのことから自分の分を好きだけ摘み取る作業となりました。ハウスの中に入るとかすみ草の花の香りが充満していてむせ返るほどでした。またミツバチがたくさん飛んでいて怖がる生徒もいました。

上田さんの説明にメモをとりながら聴く姿は、「さすがは3年生」といった感じでした。流通の現状を詳しく話して頂き、商業科にとって教科書や参考書では得られない貴重なデータを知る事ができました。感謝します。

育友会のバスを運転して頂いたのは、元 菊池観光協会事務局長です。これからも多くのひと・もの・ことに出会う体験学習に取り組んでいきたいと思えます。



かすみ草に囲まれた女子高生たち

### 目次:

熊本県立大学とのコラボ授業	2
水神信仰と河童伝説	2
栗拾い体験？ 美少年酒造見学	2
酒米 稲刈り体験	3
ほの宵まつり 高校生の灯り	3
地域おこし協力隊中間報告	3
かすみ草収穫体験	4



## 人と人をつなぐ未来のビジネスリーダーの育成

職業人講座 ~菊池丸ごと体験~

発行日 2015/12/14

## はじめての商業科集会

2015/9/1 (火) 1時限目

初めての商業科集会を実施しました。1年生から3年生までの合計6クラスの生徒が体育館に集まりました。商業科主任の「これから菊池高校商業科は体験学習を多く取り入れ、地域に貢献できる人になってもらう」とのメッセージがあり、2年生の合志君と川口さんの司会で集会が始まりました。今回の集会の目的は、①商業科の取り組みを1年生から3年生まで共有する。②他学年との交流により科の所属意識を持たせる。また、生徒同士の情報交換の場とする。③3年生の吹奏楽部員が金賞を受賞し、九州大会を目指した大会に参加するため、激励会も兼ねる。

2人の司会者から、北村君と春木君へイ



商業科集会を初めて開催しました。

ンタービューがありました。その中で春木君は「高校に入学してから楽器ユーフォニアムをはじめた」ことがわかり、生徒たちも驚いていました。北村君は昼休み欠かさず練習に励み、掃除開始前5分間で昼食を摂っているとのことでした。

1年生の小池さんが代表して激励の言葉を述べました。商業科全員で二人の演奏を聴きました。高校から楽器に取り組み、金賞とる人は珍しいそうです！

## 菊池職業人講座 はじまる

高校卒業して就職する人を育てることが商業科の目標です。しかし、現実として高校卒業後に就いた職にずっと働き続ける事は、少なくなってきました。理由として①働き方、社会の変化②就職する人の変化③指導体制の変化と大きく分けて3つが挙げられます。

商業科から就職して欲しい、「働くとはどのよう

なことなのか？」しっかりと考えて欲しい。職業選択の幅を広げて欲しい。多くの本物(ひと・もの・こと)に出会って欲しい。そのために菊池地域の方々に来校してもらい、また学校の外に飛び出して体験学習します。これら全てをまとめて「菊池職業人講座」と呼ぶことにしました。

## 熊本県立大学とのコラボ授業

2015/9/23 (水) 秋分の日

熊本県立大学総合管理学部の1年生85名が菊池高校にやってきました。大学で全員が履修しなければならない科目として「もやいすとジュニア」があります。熊本県立大学は地域との関連を深める取り組みに力を入れています。この取り組みもその一つです。県立大の1年生250名を阿蘇、菊池、玉名の3地区に分けてフィールドワークします。菊池地区は菊池高校が担当することになったのです。

11月に菊池ほの宵まつりが開催されます。

6日間開催されるまつりのなかで、11月20日は「高校生の灯り」と命名し、高校生が企画運営することになっています。その日のための企画を大学生と一緒に考えることにしました。また、菊翔祭文化の部で使う野外特設ステージ用の竹灯籠も作成しました。

高校生と大学生と地域の大人と一緒に考え、作業している姿は「地域の高校」のこれからの姿を表していると感じました。

お兄さんお姉さんとの共同作業は、少し恥ずかしさがあつたけど、すぐに馴れて笑顔が一杯でした。



大学生と高校生が菊池の町について考えます。ワールドカフェ方式でのワークショップ体験です。

## 水神信仰と河童伝説

2015/9/30 (水) 商業科3年生 課題研究 調査研究班

水の国高校生フォーラムが初めて開催されます。その発表校に菊池高校は選ばれました。そこで、商業科として水について特別授業を計画しました。菊池には「天地元水神社」という歴史の深い神社があり、その神社を代々受け継ぎ守ってきた渋江家に依頼しました。渋江家の歴

史は、神奈川大学の小馬 徹（こんま とおる）教授が4200点にもなる古文書を調査され、新事実を解明されました。菊池の水を調べていると水神信仰と河童伝説発祥の地が関係していることがわかりました。このことを渋江さんご本人から直接聞く機会を持つことができました。感謝します。市役所、学芸員、市議会議員と地域の方々も参加されました。



渋江さんの話を聞いて、地域の方々々とグループセッションします

## 栗拾い体験？ 美少年酒造見学

2015/9/29 (火) 2年生体験学習

菊池と山鹿と球磨地方は栗の産地です。栗は収穫、出荷作業に手間のかかる商品で、高齢化のため収穫しない栗の木が増えていると言う話を伺いました。それでは、商業科の体験学習で「菊池丸ごと体験」しようと考えました。しかし、計画後に台風が直撃し栗は無残にも収穫前に落とされてしまいました。栗の収穫はできなくなりましたが、菊池

東中学校跡地にできた「きくちふるさと水源交流館」に訪問し千畳河原付近の清掃活動と美少年酒造の工場見学をしました。美少年は、熊本市川尻町にありましたが、菊池市立水源小学校跡地に移ってきました。美味しいお米、水が菊池の自慢です。それらを使った美味しい日本酒が造られています。まだ生徒たちは味あうことはできませんが……大人になったら菊池を堪能して欲しいです。

日本中の河童が同じイメージで語られるのは、菊池の「天地元水神社」の「お札」によって広められたからだそうです。

全国に影響を持つ神社が菊池にあり、今も受け継がれている事を知りました。

## 酒米 稲刈り体験

2015/10/21 (水) 午前中

渡辺商店が所有する田んぼの稲刈り体験を実施しました。渡辺商店は限府にある酒屋さんです。酒よりもネット販売に力を入れています。全国からインターネットをとおして注文があるそうです。菊池以外の人が菊池の農産物に注目していると言うことですね。

緑のお米や赤のお米、酒用のお米など稲＝白米しか知らない私たちでしたのでとても勉強になりました。今回稲刈りさせてもらったのは、酒米として美少年酒造に持ち込まれ、「菊池川」という日本酒になります。これは、

渡辺商店のPB商品(プライベートブランド商品)です。米の生産からこだわり、生産の全てを消費者に伝えることで、商品に物語性を持たせます。そうすることで、商品への愛着を高め、ひいては商品ブランド力を高めていきます。

菊池高校商業科1年生が収穫したことも、物語の一部になるかもしれません。これから継続的に商品ができるまでを追いかけてみたいと思います。菊池市が取り組む6次産業化を間近で見て体験することで、菊池を丸ごと理解していきたいです。



虫がいっぱい!! かゆい!! 初めはイヤがっていたけど、すぐに稲刈りに集中していました。

## ほの宵まつり ～高校生の灯り～

ほの宵まつりは、今年で5年目を迎えます。11月の金曜日と土曜日に日暮れから9時まで竹灯籠にろうそくを入れて灯りを楽しみます。竹の内側は柔らかな白色です。そこにろうそくの明かりがゆらゆらとあたり、心が落ち着く色合いが愉しめます。

そのまつりに菊池高校は、授業をとおして参加しています。竹を繋ぎ合わせた壁画に模様を彫り、裏から光りを当てることで模様

を浮かび上がらせる作品を作っています。1年生が取り組み、文化祭に展示作品として出展します。

3年生商業科は、竹灯籠作成に9月から関わることで、3年前からイベントする権利をもちることができました。今年は11月20日に高校生の灯りを実施しました。バンド、ダンス、クイズを企画運営しました。来年はどのような企画になるのか今から楽しみです。



2年生商業科の生徒が中心となったガールズバンドです。

## 地域おこし協力隊中間報告

2015/11/17 (火) 13時～

菊池市に今年度から「地域おこし協力隊」と言われる人たちが7名採用になりました。昨年度は1名だったのが7倍にも増えたのです。でも「協力隊の人って何をしてるの?」とみな疑問に思っています。存在自体を知らない人もたくさんいました。

そこで、1年生の「ビジネス基礎」の時間を使い市役所で行われる報告会に参加すること

にしました。学校から市役所までは、1列に並んで小走りで移動しました。3階大会議室に到着したときは、息切れ、汗ばんでいました。大人だけの会議に高校生が交じると化学反応が起きたように、互いを刺激するようです。初めて知ることばかりでおもしろかったと言う感想が多く聞かれました。

菊池を良くする取り組みが、菊池の人以外で真剣に考えられていることにも驚いていました。

### 突然ふられた感想コメント

菊池市長が、「高校生から一言コメントして欲しい」と要望され突然ではありましたが、鳥丸さんの堂々とした発言内容と態度に会場の大人から自然と拍手がわき起こりました。